

京 都 大 学

結 核 研 究 所 年 報

第 1 6 号

昭 和 3 9 年 度

1 9 6 5 年 3 月

京 都 大 学 結 核 研 究 所

京 都 大 学

結 核 研 究 所 年 報

第 16 号

昭 和 39 年 度

1964

京都大学結核研究所職員及準職員

所 長	教 授	長 石 忠 三	(京都大学結核研究所外科学)
協 議 員	教 授	堀 井 五 十 雄	(京都大学医学部長, 解剖学教室)
”	教 授	浅 山 亮 二	(京都大学医学部附属病院長, 眼科学教室)
”	教 授	荒 木 千 里	(京都大学医学部外科学教室第1講座)
”	教 授	植 田 三 郎	(京都大学結核研究所細菌血清学)
”	教 授	前 川 孫 二 郎	(京都大学医学部内科学教室第3講座)
”	教 授	美 濃 口 玄	(京都大学医学部口腔外科学教室)
”	教 授	稲 田 務	(京都大学医学部泌尿器科学教室)
”	教 授	福 田 正	(京都大学医学部放射線医学教室)
”	教 授	掛 見 喜 一 郎	(京都大学医学部附属病院薬剤部長, 薬学部薬学科教室)
”	教 授	永 井 秀 夫	(京都大学医学部小児科学教室)
”	教 授	内 藤 益 一	(京都大学結核研究所内科学第1)
”	教 授	村 上 仁	(京都大学医学部精神科学教室)
”	教 授	稲 本 晃	(京都大学医学部麻醉学教室)
”	教 授	三 宅 儀	(京都大学医学部内科学教室第2講座)
”	教 授	辻 周 介	(京都大学結核研究所内科学第2)
”	教 授	脇 坂 行 一	(京都大学医学部内科学教室第1講座)
”	教 授	高 松 英 雄	(京都大学結核研究所病理学)
”	教 授	西 村 敏 雄	(京都大学医学部婦人科学教室)
”	教 授	大 藤 重 夫	(京都大学医学部皮膚病学黴毒学教室)
”	教 授	木 村 忠 司	(京都大学医学部外科学教室第2講座)
”	教 授	伊 藤 鉄 夫	(京都大学医学部整形外科学教室)
”	教 授	岡 本 耕 造	(京都大学医学部病理学教室第2講座)
”	教 授	森 本 正 紀	(京都大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

(内科学第1)

主任 教授：内藤益一，助教授：前川暢夫，講師(非常勤)：大井 豊，助手：吉田敏郎・津久間俊次，副手：中西通泰・松島留蔵・川合満・清水 明・井本伍平・東向一郎・小沢晃・蒲田廻子・池田宣昭・雑賀宣二郎・柴田朝緒・田中健一・久世文幸，大学院：岩井嘉一・太田令子，研究員：吉原宣方・中井 準

(小児科)

主任 教授(兼)：内藤益一，助教授：小林 裕，助手：金村泰輔，副手：福井齊・立石恭子

(内科学第2)

主任 教授：辻 周介，助教授：安平公夫，客員講師 James P. Satterwhite，講師(非常勤)：西岡諄，助手：小原幸信・藤田 豊，副手：小松幹雄・上田千里・市田新路・田中久勝・浜本武夫・福岡謙助・永野琴子，研究員：泉 孝英，大学院：野村繁雄

(病態生理学)

主任 教授(兼)：辻 周介，助教授：大島駿作，講師(非常勤)：渡辺熙・並河 靖・日置辰一朗，助手：岡田長保，副手：熊代朗子・浅田高明・小林辰雄・儀間義威・中島道郎，技官：木津 啓

(外科学)

主任 教授：長石忠三，助教授：寺松 孝，講師：佐川弥之助，講師(非常勤)：長沢直幸・日下芳郎・小林君美・中村健・山本利雄・大橋啓吾・(兼)渡辺 熙，助手：岡田慶夫，副手：山崎昇・木下修二郎・大道重夫・立石昭三・久野健志・永井 彰・岩田 明・土肥佳郎・田中歳郎・池田貞雄・船津武志・人見滋樹・山本博昭・伊東政敏・甲斐隆義・北野司久・浅井信明・菅原精博・宮本信昭・山本四郎・小野孝・安田俊吉・石井昌生・井上律子，研修員：金 泰希・紺谷日出雄・浜崎喜則・鄭茂松・A・R・フェルランド，研究員：金 在河，大学院：加藤康夫・源河圭一郎・田苗英次・伊藤元彦・安田隆三郎，技官：愛場 要，吉田真澄

(病理学)

主任 教授：高松英雄，講師：水谷 昭，講師(非常勤)：峰下鍔雄，助手：大川欣一，副手：進藤備昌・富永敏郎・北村 彬・溝口喜久男・竹沢正和・永井隆男・岡田 彰・伊藤 満・池谷淳一・熊沢 清・池田 嵩・稲本康彦・竹沢紀美子，研修員：佐々木 元・小森昭宏，研究員：引間啓祐，技官：大槻 実

(細菌血清学)

主任 教授：植田三郎，助教授：上坂一郎，助手：白石正雄・大岩弘治，副手：伊藤義昭・土井和雄・大平 実，研修員：小林 博，技官：山岸悦子・山田愼一

(併任)

教授 永井 秀夫(京都大学医学部小児科学教室)

教授 福田 正(京都大学医学部放射線医学教室)

教授 西尾 雅七(京都大学医学部公衆衛生学教室)

(事務部)

事務長：千種顕誠，庶務掛長：牧 義彦，同主任：木村斐夫，同事務官：近藤英子・小林和雄・堀田良恵，経理掛長：蔭山寅一，同主任：松本 正，同事務官：上地稔子，収入掛長：北川治康，同主任：中村睦太郎，同事務官：前田久男・中嶋婦ミ・白井キヌ・野田芳子・村上登美枝・岡野福子・佐竹セツ，患者掛長：鈴庄清二，同事務官：室恵美子

(附属病院)

病院長：教授：内藤益一

(診療部)

薬剤主任：小野木賢治，同事務官：宇野初枝，同技官：壺貝浩子・八木充子，レントゲン室主任：浜川純一，同技官：蔵岡信良・大坂泰夫・曾我部康之，同事務官：野元頼子，総看護婦長：細川ミツエ，看護婦長：安井八重子・中根文子，主任看護婦：信重安子・大前久野，同技官：古府静枝・岩永千代子・高市政子・北村トミ子・安部克己・近藤信子・山崎保子・田中松代子・松田比佐子・谷村明子・松本敏枝・小林とよ・小林梅野・藤井千鶴子・竹崎浄子・植垣比沙子・法性イヨ・松宮なを子・山田さだ子・松田富子・明石和子

業 績 目 録

内 科 学 第 1 (主任 教授 内藤益一)

〔学 会 発 表〕

- 1) 内藤益一, 前川暢夫, 吉田敏郎, 津久間俊次, 大井公雄, 中西通泰, 川合満, 中井準, 池田宣昭, 吉原宣方, 久世文幸, 田中健一, 小沢 晃, 蒲田廻子, 岩井嘉一, 柴田朝緒: 肺結核化学療法における初回治療と再治療との強化, 第39回日本結核病学会総会 (39. 4. 5)
- 2) 内藤益一, 津久間俊次, 池田宣昭: 結核菌に対する INH の制菌効果および殺菌効果と, INH 耐性上昇との関係についての試験管内検討, 同上 (同上)
- 3) 前川暢夫: 既治療肺結核の化学療法, 同上シンポジウム特別発言 (同上)
- 4) 内藤益一, 前川暢夫, 津久間俊次, 川合満, 中井 準, 久世文幸, 小沢 晃: 1314Th の基礎的研究補遺, 第12回日本化学療法学会総会 (39. 6. 12)
- 5) 内藤益一, 津久間俊次, 岩井嘉一, 柴田朝緒: 2,2'-(Ethylendiimino)-di-1-butanol (Ethambutol) の抗結核作用について, 同上 (同上)
- 6) 内藤益一, 中井 準: 耐性結核菌感染患者の治療, 第4回日本胸部疾患学会総会ラウンドテーブルコンファランス (39. 9. 13)
- 7) Nobuo Maekawa, Masukazu Naito: Intensified regimen of chemotherapy in original treatment of pulmonary tuberculosis, VIII Congreso Internacional de Enfermedades del Torax (39,10,14)
- 8) Masukazu Naito, Nobuo Maekawa: Intensified chemotherapeutic regimens in retreatment of pulmonary tuberculosis, VIII Congreso Internacional de Enfermedades del Torax (39, 10,14)
- 9) 内藤 益一, 吉田敏郎, 津久間俊次, 岩井嘉一: 高濃度血清加液体培地に於ける結核菌発育と培地との関係について, 第30回日本結核病学会近畿地方会 (39. 12. 5)
- 10) 中井 準: 耐性菌感染肺結核の頻度とその治療, 同上, シンポジウム (39. 12. 5)
- 11) 内藤益一: SM, PAS, INH 無効肺結核の化学療法, 京都大学結核研究所昭和39年度学術講演会 (40. 1. 9)
- 12) 津久間俊次, 中井準, 他: 討議—「今日の問題……深刻化しつつある耐性菌問題」同上 (同上)

〔誌 上 発 表〕

- 1) 前川暢夫, 津久間俊次, 清水 明, 川合 満, 中井 準, 久世文幸, 小沢 晃 PAS-phenylester 類の抗結核作用知見補遺, 京結紀要, 12巻, 2号 (39. 3)
- 2) 久世文幸: Silicone-Coated Slide Culture Method における接種菌量と 諸種抗結核剤の結核菌発育阻止最低濃度との関係について, 同上 (同上)
- 3) 内藤益一, 津久間俊次, 池田宣昭, 久世文幸: Silicone-Coated Slide への結核菌の附着に影響する諸因子の検討補遺, 同上 (同上)
- 4) 吉原宣方: 現行結核菌耐性検査法に就いての吟味 (第3編), 同上 (同上)
- 5) 内藤益一, 老年者肺結核症の病型と治療, 老年病, 18巻, 3号 (39. 3)
- 6) 内藤益一, 中井 準, 伊藤 篤, 他: DL-2,2'-(Ethylen-ediimino)-di-1-butanol (Ebutol) の眼に対する副作用の発生例について, 日本胸部臨床, 23巻, 7号 (39. 7)
- 7) 前川暢夫, 小沢 晃, 他: 慢性肺結核症に対する Anabolic Steroid (HMD, Anadrol) の試用経験, 臨床と研究, 41巻, 7号 (39. 7)

- 8) 内藤益一：結核菌耐性と新しい結核剤の使い方，日本臨床，22巻，8号（39. 8）
- 9) Shunji Tsukuma, Kaichi Iwai, et al: Tuberculostatic Activities of Chemotherapeutic Agents Evaluated by a Medium-Replacing Culture Method, Acta Tuberc. Jap., Vol. 14, No.1 (1964,9)
- 10) 津久間俊次，川合 満，清水 明，吉原宣方，田中健一：結核化学療法剤の探求（第13報）p-Aminosalicyloylhydrazon 系誘導体の試験管内結核菌発育阻止作用について，京結紀要，13巻，1号（39. 9）
- 11) 田中健一：オルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ（SOM）の試験管内抗結核菌作用に関する研究（第1編～第3編），同上（同上）
- 12) 田中健一：抗結核薬の殺菌作用に及ぼす作用環境の pH 並びに血清濃度の影響，同上（同上）
- 13) 津久間俊次，田中健一，雑賀宣二郎：オルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ（SOM）と他種抗結核剤との試験管内併用効果に関する研究，同上（同上）
- 14) 久世文幸：結核化学療法剤としてのオルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ（SOM）に関する生体実験（第1編～第5編），同上（同上）
- 15) 内藤益一：老年者と感染症——老年者と肺結核症，日本老年医学会雑誌，1巻，2号（39.10）
- 16) 内藤益一，津久間俊次，他：結核菌に対する化学療法剤の研究（第16報）phenylthiourea 誘導体の合成並びに抗菌作用，薬楽雑誌，84巻，10号（39.10）
- 17) 内藤益一，清水 明，川合 満，中井 準，池田宣昭，吉原宣方，久世文幸，田中健一，小沢晃，蒲田廸子，岩井嘉一，田隅朝緒，雑賀宣二郎，太田令子：肺結核初回化学療法強化，日本胸部臨床，23巻，11号（39.11）
- 18) 内藤益一：臨床薬理学大系（XV，化学療法薬，3，抗結核薬），中山書店（39.11）
- 19) 前川暢夫，川合満，中井 準，小沢 晃：慢性肺結核患者に対する Anabolic Steroid (Oranabol, HMT) 投与の経験，日本胸部臨床24巻，3号（40.3）

小 児 科 （主任 教授 内藤益一）

〔学会発表並びに講演〕

- 1) 福田 潤：小児蛋白尿について，第12回京都市学校保健学会（39. 2. 25）
- 2) 小林裕：精製ツベルクリンについて，第12回京都市学校保健学会（39. 2. 25）
- 3) 小林 裕，福田 潤，立石恭子，三河春樹，赤石強司，横山達郎：小児における PPD-s の使用成績，第39回日本結核病学会総会（39. 4. 5）
- 4) 立石恭子，福田潤，小林 裕：新生児，乳幼児に対する BCG 経口投与成績，第39回日本結核病学会総会（39. 4. 5）
- 5) 小林裕，福田潤，立石恭子：BCG ワクチンの経口接種に関する研究（第1報），日本小児科学会第67回総会（39. 6. 20）
- 6) 永井秀夫，福田潤，小林 裕：Fucidin の試験管内抗菌力と他抗生剤との併用効果—第1報—，日本抗生物質学術協議会関西支部研究会（39. 7. 18）
- 7) 永井秀夫，福田 潤，小林 裕：新 Sulfa 剤 Sulfa-dimethyloxazole の試験管内抗菌力とそれに及ぼす諸因子の影響，日本抗生物質学術協議会関西支部研究会（39. 7. 18）
- 8) 小林 裕：BCG ワクチンの経口接種について，京都大学結核研究所昭和39年度講演会（40. 1. 9）

〔雑誌発表〕

- 1) 小林裕他：本邦における非定型抗酸菌感染の疫学的研究—昭和37年度研究成績—，日本医事新報，2074号，13，昭39.1
- 2) 福田 潤：皮膚筋炎の1例，小児科紀要，10(1)，22，1964
- 3) 福田 潤：小児腎盂腎炎に関する研究第1編小児尿路感染症の補助的診断法としての尿中菌数に関する検討，小児科紀要，10(2)，14，1964

内 科 学 第 2 (主任 教授 辻 周 介)

〔学会発表並びに講演〕

1. 辻周介, 大島駿作, 藤田豊, 中島道郎: 結核に対する生体の防衛力に関する研究 (続報), 体液性抗原因子について, 第39回日本結核病学会総会 (39.4.5)
2. 安平公夫, 永野琴子: Runtig Syndrome の成因に関する考察, 第53回日本病理学会総会 (39.5.4)
3. 辻周介, 大島駿作, 泉孝英: ツベルクリンアレルギーの受身伝達実験 (血清中の伝達因子と抑制因子について), 第12回結核化学研究グループ総会 (39.5.12)
4. 辻周介, 泉孝英: 急速に呼吸困難を来した1例 (シンポジウム(II), 肺結核とそれと誤診し易い肺疾患との鑑別診断), 第29回日本結核病学会近畿地方会 (39.6.6)
5. 藤田豊, 小原幸信: 全肺野に撒布のみられた転移性肺癌の1例 (同上), 同上 (39.6.6)
6. 日置辰一郎, 小原幸信, 大城盛夫: 肺癌発見に先行してその末梢部に現れた肺野異常陰影例について (同上), 同上 (39.6.6)
7. 安平公夫, 永野琴子: 肺癌発生に関する実験的研究(2), Methylcholanthrene によるラット肺癌の組織発生, 第6回肺癌研究会関西支部会 (39.6.20)
8. 小原幸信, 藤田豊: 多発性小空洞を伴った転移性肺癌 (胆嚢原発) の一例, 同上 (39.6.20)
9. 安平公夫: 癌と結核——その免疫学的背景の関連, 第16回国立大学附置研究所結核談話会 (39.9.10)
10. 辻周介, 大島駿作, 泉孝英: ツベルクリンによるアナフィラキシーショック, 第13回結核化学研究グループ総会 (39.10.14)
11. 辻周介, 大島駿作, 泉孝英: ツベルクリン感受性伝達因子に関する研究 (動物におけるツベルクリン・アレルギーの Transfer Factor の証明), 第14回日本アレルギー学会総会 (39.11.20)
12. 辻周介: 癌と結核の関係, 京都結核医学 (39.11.25)
13. 安平公夫, 宗実琴子: 肺癌に前駆する気管支粘膜上皮の扁平上皮化生, 第30回日本結核病学会近畿地方会 (39.12.5)
14. 宗実琴子, 安平公夫: 結核菌感染による発癌の抑制, 同上 (39.12.5)
15. 辻周介, 野村繁雄, 岡田長保: 診断困難であった肺ジストマ症の一例, 同上 (39.12.5)
16. 安平公夫: 肺における扁平上皮癌の実験的発生, 京都大学結核研究所昭和39年度学術講演会 (40.1.9)
17. 辻周介: 非結核性肺疾患の診断, 京都結核管理研究会第7回研究集会 (40.1.20)
18. 安平公夫: 胸腺の生理と病理, 第101回結核研究所総合談話会 (40.2.18)
19. 安平公夫, 宗実琴子: 肺癌の発生に関する実験的研究 (3) Freund の adjuvant を付した 20-methylcholanthrene の気管内注入によるラット肺癌の発生, 第7回肺癌研究会関西支部会講演 (40.1.30)
20. 安平公夫: 20-Methylcholanthrene の気管支注入による肺癌の実験的形成, アメリカ胸部医師学会日本支部会, 招待講演, (40.3.21)

〔雑 誌 発 表〕

1. 大城盛夫: 遅延型皮膚アレルギー感受性の受身伝達に関する研究, (1) 各種遅延型皮膚反応の比較, (2) 澱粉カラムを使用した血清電気泳動分画による遅延型皮膚感受性の受身移行の企て, (3) Alveolar Macrophage 抽出液の電気泳動分画によるツベルクリン感受性の受身移行の試み, 京結紀要, 12: 165, 176, 182, 1963
2. Yasuhira, K.: Damage to the Thymus and Other Lymphoid Tissues form 3-Methylcholanthrene, and Subsequent Thymoma Production, in Mice, Cancer Research, 24: 558, 1964
3. 泉孝英: ツベルクリン感受性伝達因子に関する研究 第1篇 Myrvik の Alveolar Macrophages に関する免疫学的検討, アレルギー, 13: 524, 1964
4. 泉孝英: ツベルクリン感受性伝達因子に関する研究 第2篇 ウサギの Alveolar Macrophages 及び細胞画分並びに血清画分による「ツベルクリン」感受性の受身伝達, アレルギー, 13: 583, 1964

5. 笹瀬博次, 清瀬嘉治, 山本辰芳, 安平公夫, 永野琴子, 瀬戸正夫, 下内啓万: 塩干イワシによる食中毒, 医療, 18: 778, 1964
6. 永野琴子: 発癌と制癌に及ぼす結核の影響に関する実験的研究, (1)ラットにおける吉田肉腫の皮下移植に及ぼす結核感作の影響, (2)ラットにおける皮下腫瘍発生に及ぼす結核感作の影響, (3)ラットにおける肺腫瘍発生に及ぼす結核感作の影響, 京結紀要, 13: 99, 109, 119, 1964
7. Tsuji, S., Oshima, S., Oshiro, M., & Izumi, T.: Studies on the "Transfer Factor" of Tuberculin Hypersensitivity in Animals. I. Observation of Successful Passive Transfer of Tuberculin Hypersensitivity with Fraction of either Disrupted Alveolar Macrophages or Serum of Sensitized and Challenged Rabbits, J. Immunol., 93: 838, 1964

病 態 生 理 学 (主任 教授 辻 周 介)

[学 会 発 表]

- 1) 辻 周介, 大島駿作, 藤田 豊, 中島道郎: 結核に対する生体の防衛力に関する研究 (続報), 体液性抗菌因子について, 第39回日本結核病学会総会 (39.4)
- 2) 辻 周介, 大島駿作, 泉孝英: ツベルクリンアレルギーの受身伝達実験 (血清中の伝達因子と抑制因子について), 第12回結核化学研究グループ総会 (39.5)
- 3) Nagayasu Okada, Leon T. Rosenberg: T₂ Phage Neutralizing activity of mouse serum, The 64th Annual Meeting of American Society for Microbiology (39.5)
- 4) 辻 周介, 泉 孝英: 急速に呼吸困難を来した一例, 第29回日本結核病学会近畿地方会 (39.6)
- 5) 日置辰一郎, 小原幸信, 大城盛夫: 肺癌発見に先行してその末梢部に現れた肺野異常陰影例について, 第29回日本結核病学会近畿地方会 (39.6)
- 6) 大島駿作: Alveolar Macrophage および血清によるツベルクリンアレルギーの受身伝達実験について, 第4回日本胸部疾患学会総会 (39.9)
- 7) 辻 周介, 大島駿作, 泉 孝英: ツベルクリンによるアナフィラキシーショック, 第13回結核化学研究グループ総会 (39.10)
- 8) 辻 周介, 大島駿作, 泉 孝英: ツベルクリン感受性伝達因子に関する研究 (動物におけるツベルクリンアレルギーの Transfer Factor の証明), 第14回 日本アレルギー学会総会 (39.11)
- 9) 辻 周介: 癌と結核の関係, 京都結核医学講演 (39.11)
- 10) 辻 周介, 野村繁雄, 岡田長保: 診断困難であった肺ジストマ症の一例, 第30回日本結核病学会近畿地方会 (39.12)
- 11) 岡田長保: 補体一成分の化学的精製 (遺伝的補体欠除マウスを指標として) 同上シムポジウム
- 12) 大島駿作: 健康人尿中の抗結核菌性因子について, 京大結核研究所昭和39年度学術講演会 (40.1)
- 13) 辻 周介: 非結核性肺疾患の診断, 結核管理研究会 (40.1)

[雑 誌 発 表]

- 1) Shusuke Tsuji: Mechanism of Tuberculosis Immunity with Special Reference to Cellular Factors, Acta Tuberc. Jap., 13; 41, 1964
- 2) Shusuke Tsuji, Shunsaku Oshima, Morio Oshiro, Takateru Izumi: Studies on the "transfer factor" of tuberculin hypersensitivity in animals.
 1. Observation of successful passive transfer of tuberculin hypersensitivity with fractions of either disrupted alveolar macrophages or serum of sensitized and challenged rabbit, J. Immunol., 93, 838, 1964

- 3) 中島道郎：結核菌感染に対する家兎 Alveolar Macrophage の抵抗性に関する組織培養的研究，京大結研紀要，12巻，2号，143，(昭39.3)
- 4) 泉 孝英：ツベルクリンの感受性伝達因子に関する研究，第1編 Myrvik の Alveolar Macrophages に関する免疫学的検討，アレルギー，13巻，7号 (昭39.7)
- 5) 泉 孝英：ツベルクリン感受性伝達因子に関する研究，第2編 ウサギの Alveolar Macrophages 及びその細胞画分並びに血清画分による「ツベルクリン」感受性の受身伝達，アレルギー，13巻，9号 (昭39.9)

外 科 学 (主任 教授 長石 忠三)

〔学 会 発 表〕

〔特別講演，シンポジウム他〕

- 1) Chuzo Nagaishi, Yanosuke Sagawa and Takashi Yokoyama : The Changes in Pulmonary Lymph-Flow under Various Conditions, Symposium : Lymph Circulation at APCC, (May 13, 1964)
- 2) 長石忠三：空洞直達療法，台湾医学会特別講演 (昭39.5)
- 3) 浜崎善則，宮本信昭：肺結核に続発した肺アスペルギールス症について，第29回日本結核病学会近畿地方会シンポジウム (昭39.6.6)
- 4) 田中歳郎，佐川弥之助，久野健志，山本四郎，鄭茂松：肺気腫合併肺結核における肺循環動態 第4回日本胸部疾患学会総会ラウンドテーブルカンファランス (昭39.9.12)
- 5) Chuzo Nagaishi: The Local Surgical Treatment of Pulmonary Tuberculosis, Special Lecture at Department of Surgery, Stanford University, U.S.A. (Sept. 28, 1964)
- 6) Chuzo Nagishi : Pulmonary Emphysema accompanied by Pulmonary Tuberculosis, Special Lecture at the Cardiovascular Research Institute, University of California San Francisco Medical Center, U.S.A. (Sept. 29, 1964)
- 7) Chuzo Nagaishi : Intracavitary Insufflation of Chemotherapeutic Agents by using Metrás Catheter via Tracheo-bronchial Route, Special Lecture at Department of Medicine, University of California San Francisco Medical Center, U.S.A. (Sept. 30, 1964)
- 8) Chuzo Nagaishi : Lymphatogenous Metastasis of Lung Cancer, Special Lecture at the Chest Clinic, University of California Service San Francisco General Hospital, U. S. A. (Oct. 1, 1964)
- 9) Chuzo Nagaishi : Electronmicroscopy of Lung Cancer 同上 (Oct. 1, 1964)
- 10) Chuzo Nagaishi : International Committee on Lung Cancer (Vice President として) Mexico City (Oct. 10, 1964)
- 11) 佐川弥之助：肺気腫を合併した肺結核，第17回日本胸部外科学会総会シンポジウム：肺結核外科 (昭39.10.29)
- 12) 長石忠三：肺機能 (滝島：換気，金上：拡散，藤本：血流) 第17回日本胸部外科学会総会招待講演司会 (昭39.10.29)
- 13) 長石忠三，寺松孝：空洞切開術の遠隔成績，第17回日本胸部外科学会総会パネル「胸部外科手術の遠隔成績」 (昭39.10.30)
- 14) 長石忠三：肺癌の術前照射，肺癌研究会総会シンポジウム (昭39.11.7)
- 15) 長石忠三，岡田慶夫：肺癌のリンパ行性転移に関する2，3の問題，第2回日本癌治療学会特別講演 (昭39.11.19)
- 16) 長石忠三：:ACCP 日本支部講演会主催 (昭40.2.27)

〔一般講演〕

- 1) 久野健志, 長石忠三, 佐川弥之助: 肺気腫合併肺結核の心肺動態(I), 第8回肺気腫研究会(昭39.1.26)
- 2) Chuzo Nagaishi, Yoshio Okada: Pulmonary Lymph-Flow and Absorption of Substances from the Broncho-alveolar Wall, Asian-Pacific Congress on Cardiology (1964, 10-14)
- 3) 寺松孝: 肺結核刺激療法についての組織化学的並びに生化学的検討(第1報) ヒスタミンを中心として, 第12回結核化学研究グループ総会(昭39.5.12)
- 4) 岡田慶夫, 大道重夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎他: 肺原発巣と脳転移巣とを共に剔除した肺癌の症例, 第6回肺癌研究会関西地方会(昭39.6.21)
- 5) 池田貞雄, 岡田慶夫, 伊藤元彦, 紺谷日出雄: 肺癌の免疫血清学的診断法の試み, 同上(昭39.6.21)
- 6) 源河圭一郎: Intralobar Sequestration の1例, 第26回京都外科集談会(昭39.6.21)
- 7) 源河圭一郎, 岡田慶夫, 大道重夫, 池田貞雄, 北野司久, 金在河, 山本博昭他: 所謂中葉症候群に関する2, 3の問題, 第7回胸部外科学会関西地方会(昭39.6.26)
- 8) 岡田慶夫, 大道重夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎, 田苗英次他: 肺癌に対する⁶⁰Coの術前照射, 同上(昭39.6.26)
- 9) 田中歳郎, 佐川弥之助, 久野健志, 山本四郎: 肺気腫合併肺結核症における心肺動態について, 同上(昭39.6.26)
- 10) 加藤康夫, 寺松孝, 人見滋樹, 石井昌生, 山崎昇: 肺手術後における血清電解質の動態, 同上(昭39.6.26)
- 11) 久野健志, 長石忠三, 佐川弥之助: 肺気腫合併肺結核の心肺動態(II), 第9回肺気腫研究会(昭39.7.19)
- 12) 今井重昭, 岡田慶夫他: 肺癌と誤られた腎癌の症例, 第1回日本放射線学会(昭39.9.5)
- 13) 田中歳郎, 佐川弥之助, 久野健志, 山本四郎, 鄭茂松: 肺気腫合併肺結核症における心肺動態について, 第4回日本胸部疾患学会総会(昭39.9.12)
- 14) 加藤康夫, 岩田明, 山崎昇, 田中歳郎, 人見滋樹: 肺結核外科における蛋白同化ホルモンの使用経験, 同上(昭39.9.12)
- 15) 宮本信昭, 船津武志, 伊東政敏, 田中歳郎: 肺結核に続発した肺アスペルギールス症について, 同上(昭39.9.13)
- 16) Takashi Teramatsu: Combined Treatment of Pulmonary Tuberculosis with Irritation Therapy and Chemotherapy, VIII Congreso Internacional de Enfermedades del Torax, Mexico (Oct. 1, 1964)
- 17) Chuzo Nagaishi, Takashi Teramatsu: Combined Local Treatment of Pulmonary Tuberculous Cavity with Cavernostomy and Interception of Bronchus, 同上, Mexico (Oct. 14, 1964),
- 18) 佐川弥之助: 肺結核の外科的療法における最近の趨勢, 大津市医師会講演会(昭39.10.14)
- 19) 浅井信昭他: 肺結核に対する肺全剔除術10年以上を経過した症例の心肺機能, 第17回日本胸部外科学会総会(昭39.10.30)
- 20) 岡田慶夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎, 伊藤元彦, 紺谷日出雄: 肺癌の免疫血清学的診断法の試み, 同上(昭39.10.29)
- 21) 土肥佳郎他: 縦隔鏡検査法9例の検討, 同上(昭39.10.30)
- 22) 加藤康夫他: 肺結核に対する気管支遮断術の経験(第3報) 気管支遮断術と空洞切開術との複合術式不成功例の検討, 同上(昭39.10.30)
- 23) 岡田慶夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎, 伊藤元彦, 紺谷日出雄: 肺癌の免疫学的診断の試み, 第23回日本癌学会(昭39.11.9)
- 24) 佐川弥之助: 肺気腫合併肺結核—その心肺機能を中心として, 第57回台湾医学会総会(昭39.11.12)
- 25) 岡田慶夫, 源河圭一郎, 池田貞雄, 北野司久, 伊藤元彦, 紺谷日出雄, 田苗英次他: 肺癌に対する

- ^{60}C 。術前照射の経験, 第2回日本癌治療学会総会 (昭39.11.20)
- 26) 田中歳郎, 佐川弥之助他: 低酸素負荷時における肺内血液量, 第18回日本循環器学会近畿地方会 (昭39.11.28)
- 27) 佐川弥之助: 慢性肺機能不全の対策, 短波放送講演 (昭39.11.28)
- 28) 長石忠三, 岡田慶夫: 肺癌のリンパ行性転移に関する2, 3の問題, 昭和39年度京大結研学術講演会 (昭40.1.9)
- 29) 伊藤元彦, 岡田慶夫, 池田貞雄, 北野司久, 紺谷日出雄, 源河圭一郎: 若年者にみられた肺癌症例の検討, 第7回肺癌研究会関西支部会 (昭40.1.30)
- 30) 北野司久, 岡田慶夫, 池田貞雄, 紺谷日出雄, 伊藤元彦, 源河圭一郎: 転移性肺癌に対する外科的療法の経験, 第7回肺癌研究会関西支部会 (昭40.1.30)

〔 映 画 〕

長石忠三, 長沢直幸他: Métra のカシターによる気管支内薬剤注入療法, 第4回日本胸部疾患学会総会 (昭39.9.12), 第17回日本胸部外科学会総会 (昭39.10.30), 第2回日本癌治療学会総会 (昭39.11.19), International Congress on Diseases of the Chest (Mexico, Oct., 1964)

〔 著 書 〕

Chuzo Nagaishi: Klinik der Lungenkrankheiten (Knipping u. Rink 編集) 分担執筆 (Stuttgart, Deutschland 1964)

〔 誌 上 発 表 〕

- 1) 長石忠三, 小林君美, 外村聖一, 矢崎次郎: 肺血管造影による各種肺疾患の診断, 胸部疾患, 8巻, 1号 (昭39.1)
- 2) 寺松孝, 田中歳郎, 池田貞雄, 加藤康夫, 土肥佳郎: 肺結核外科的療法の術後における蛋白合成ホルモニアナドロールの使用経験, 日本胸部臨床, 23巻, 2号 (昭39.2)
- 3) 中村健: 赤血球酸素解離速度の測定法, 呼吸と循環, 12巻, 5号 (昭39.5)
- 4) 長石忠三, 岡田慶夫, 大道重夫, 池田貞雄, 北野司久, 源河圭一郎, 金在河: 人の肺癌の電子顕微鏡的観察, 胸部疾患, 8巻, 6号 (昭39.6)
- 5) 長石忠三, 佐川弥之助, 久野健志, 田中歳郎: 肺結核と肺気腫, 肺疾患研究の進歩36号 (昭39.7.1)
- 6) 長石忠三: Die Mediastinoskopie の紹介, 耳鼻咽喉科臨床57巻, 8号 (昭39.8.1)
- 7) 常盤太助: 肺結核に対するツベルクリン刺激療法と化学療法との併用効果について, 京大結研紀要, 13巻, 1号 (昭39.9)
- 8) 佐川弥之助: 生体臓器の急速冷凍法とこれを応用した迷走神経肺水腫の研究, 胸部疾患, 8巻, 9号 (昭39.9)
- 9) Chuzo Nagaishi, Yoshio Okada and Shigetoshi Ishiko: Az egészséges és beteg tüdő elektronmikróposképe, Tuberkulózis és Tüdőbégések 40-46, Hungary, (1964)
- 10) Chuzo Nagaishi, Yoshio Okada, Shigetoshi Ishiko and Shigeo Daido: Electron Microscopic Observation of Pulmonary Alveoli, Exper. Med. and Surg., 22 (1):81-117 (U.S.A.)
- 11) Chuzo Nagaishi, Yoshi Okada, Shigetoshi Ishiko and Shigeo Daido: Electron Microscopic Observation of the Human Lung Cancer, Exper. Med. and Surg., (U.S.A.) (in press)
- 12) 常盤太助: 肺結核に対するツベルクリン刺激療法と化学療法との併用効果について, 京大結研紀要13巻, 1号 (昭39.9)
- 13) Kenshi Kuno: Clinical Study on the Pulmonary Emphysema Accompanied by Pulmonary Tuberculosis, Acta Tuberc. Jap., Vol. 14, No.1 (Sep. 1964)
- 14) 佐川弥之助: 肺気腫合併肺結核—その心肺機能を中心として, 呼吸と循環, 13巻, 1号 (昭40.1)

- 15) Yoshio Okada, Shigetoshi Ishiko, Sadao Ikeda, and Morihisa Kitano : Comparative Morphology of Lung, with Special Reference to Alveolar Epithelial Cell, Acta Tuberc. Jap., Vol. 14, No. 2 (March, 1964)
- 16) 源河圭一郎他：所謂 Intralobar Sequestration の1例，胸部外科近刊号（昭40）
- 17) 長石忠三・岡田慶夫他：肺癌のリンパ行性転移に関する二，三の問題，日本胸部臨床近刊号（昭40）
- 18) 岡田慶夫他：肺癌の⁶⁰Co 術前照射，日本胸部臨床近刊号（昭40）

病 理 学 (主任 教授 高松英雄)

[学 会 発 表]

- 1) 高松英雄，溝口喜久男，伊藤満，竹沢正和，池谷淳一：ズルファターゼの新組織化学的証明手技，第53回日本病理学会総会 (39.5.5)
- 2) 引間啓祐：脱水素酵素の組織化学における非特異的反應の研究，第53回日本病理学会総会 (39.5.6)
- 3) 大川欣一：テトラヒドロ葉酸脱水素酵素の組織化学的研究，第53回日本病理学会総会 (39.5.6)
- 4) 高松英雄，溝口喜久男，伊藤満，竹沢正和，池谷淳一：ズルファターゼの組織化学的証明に関する若干の新原理，第5回組織化学会総会 (39.11.2)
- 5) 高松英雄：酵素組織化学の原理，第5回組織化学会総会・特別講演 (39.11.3)
- 6) 大川欣一：酸化酵素類の活性に及ぼす磷脂質・脂蛋白質及び補酵素Qの影響に関する組織化学的研究，第5回組織化学会総会 (39.11.2)

[誌 上 発 表]

- 1) 高松英雄，溝口喜久男，伊藤満，竹沢正和，池谷淳一：ズルファターゼの新組織化学的証明手技，日病会誌第53巻総会号
- 2) 引間啓祐。脱水素酵素の組織化学における非特異的反應の研究，日病会誌，第53巻，総会号。
- 3) 大川欣一：テトラヒドロ葉酸脱水素酵素の組織化学的研究日病会誌，第53巻，総会号。
- 4) Keisuke Hikima : Histochemical Studies on Dehydrogenases and Diaphorases with Special Reference to their Specificity Part 1. Nonspecific reductions of terazolium salts in tissue sections. Acta Tuberc. Jap. Vol. 13, No. 2, 1964.
- 5) Keisuke Hikima : Histochemical studies on dehydrogenases and diaphorases with special reference to their specipicity. Part II. Improvement in the method for the histochemical Demonstration of specific oxidative enzymes. Acta Tuberc. Jap. Vol. 13, No.2 1964
- 6) Kin-ichi Ohkawa and Akira Okada : Histochemical study of tetrahydrofolic dehydrogenase activity. Acta Tuberc. Jap. Vol. 14, No. 1 1964.
- 7) Kin-ichi Ohkawa and Kiyoshi Kumazawa : Histochemical study on the actwity of sorbitol dehydrogenase in rats with experimental diabetes mellitus. Acta Tuberc. Jap. Vol. 14, No.1 1964.

細 菌 血 清 学

[学 会 発 表]

- 1) 植田三郎 (1)病巣組織の塗抹，染色標本中に見る類菌，鼠類菌の種々な形と，それらが形造る特徴のある配列について……此種病原菌の本態に関する示唆 (2)体外に培養せられた鼠類菌の顕微鏡的な特異な發育について，日仏生物学会 (39.3.27東京都)
- 2) 植田三郎 類菌，鼠類菌に関する二，三の知見と考察 類学会西部地方会 (39.11.19高松市)
- 3) 白石正雄 免疫学，ことに結核免疫学における二，三の問題，昭和39年度結研学術講演会 (40.1.9)

〔雑誌発表〕

- 1) 植田三郎 黴菌, 鼠黴菌に関する研究
(1) 病巣組織の塗抹, 染色標本中に見る黴菌, 鼠黴菌の種々な形と, それらが形造る特異な配列について……此種病原菌の本態に関する示唆 レブラ33巻3号169頁, 昭39
- 2) 植田三郎 黴菌, 鼠黴菌に関する研究
(2) 湿室内スライド上に培養せられた鼠黴菌の特異な顕微鏡的な発育について, レブラ33巻3号175頁, 昭39
- 3) 上坂一郎 The tolerance of actinomycetes to acid, alkali, and malachite green as an aid to their classification and its application to the isolation of Nocardia from sputa. Preliminary report. Acta Tuberc. Japon. 14:1,1,1964

 人 事 異 動

〔内科学第1〕

- 講師 (非常勤) 大井 豊: 任用を更新する (昭39.4.1)
 副手 中西通泰・松島留蔵・川合 満・清水 明・井本伍平・東向一郎・小沢 晃・蒲田迪子・池田宣昭・雑賀宣一郎: 任用を更新する (昭39.4.1)
 介補 柴田朝緒: 退職 (昭39.4.1) 副手に採用 (昭39.4.1)
 田中健一・久世文幸: 副手に採用 (昭39.4.1)
 教授 内藤益一: アメリカ合衆国, メキシコ国, チリ国, アルゼンチン国, ブラジル国, ポルトガル国, スペイン国, 及び中華民国へ出張 (昭39.10.1~昭39.11.18)
 助教授 前川暢夫: アメリカ合衆国, メキシコ国, スペイン国, ドイツ連邦共和国及びタイ国へ出張 (昭39.10.1~昭39.12.25)

〔小児科〕

- 副手 福井 齊・立石恭子: 任用を更新する (昭9.4.1)
 助手 福田 潤: 辞職を承認する (昭39.6.30)
 助手 寺村文男: 退職, 石川県中央病院に赴任 (昭39.12.31)
 金村泰輔: 助手に採用 (昭40.1.1)

〔内科学第2〕

- 講師 (非常勤) 西岡 諄: 任用を更新する (昭39.4.1)
 副手 小松幹雄・上田千里・市田新路・田中久勝・浜本武夫・福間謙助: 任用を更新する (昭39.4.1)
 助手 藤田 豊: アメリカ合衆国へ出張 (昭39.8.25~昭40.8.24)
 永野琴子: 研修期間満了, 副手に採用 (昭39.4.1)

〔病態生理学〕

- 講師 (非常勤) 渡辺 熙: 任用を更新する (昭39.4.1)
 講師 (非常勤) 並河 靖・日置辰一郎: 任用を更新する (昭39.4.1)
 副手 熊代朗子・浅田高明・小林辰雄・儀間義威・中島道郎: 任用を更新する (昭39.4.1)

〔外科学〕

- 講師 (非常勤) 日下芳郎・長沢直幸: 任期満了 (昭39.3.31) 再び採用 (昭39.4.1)
 講師 (非常勤) 中村 健: 任用を更新する, 吉田 昇・小林君美: 講師 (非常勤) に併任する (昭39.4.1)
 山本利雄: 講師 (非常勤) に採用 (昭39.4.1)
 副手 山崎 昇・大道重夫・久野健志・岩田明・土肥佳郎・田中歳郎・池田貞雄・伊東政敏・甲斐隆義・北野司久・宮本信昭・山本四郎・小野孝・安田俊吉: 任用を更新する (昭39.4.1)

永井 彰・菅原精博：副手に採用（昭39.4.1）

研修員 井上律子：副手に採用（昭39.1.1）

講師（非常勤）吉田 昇：併任を解除する（昭39.7.31）

教授 長石忠三：沖縄及び中華民国へ出張（昭39.5.18～昭39.6.3）人見滋樹・立石昭三・浅井信明・山本博昭・木下修二郎・船津武志：副手に併任（昭39.4.1）金 泰希：研修許可（昭39.6.20～昭40.6.19）

研修員 紺谷日出雄・浜崎喜則：研修期間修了（昭40.1.31）

A・R・フェルナンド：研修許可（昭39.4.1～昭40.3.31）

鄭 茂松：研修許可（昭39.3.16～昭40.3.15）

教授 長石忠三：アメリカ合衆国及びメキシコ国へ出張（昭39.9.25～昭39.10.19）

助教授 寺松孝：アメリカ合衆国，メキシコ国，スペイン国，ドイツ連邦共和国，タイ国及び中華民国へ出張（昭39.10.1～昭40.2.17）

講師 佐川弥之助：中華民国へ出張（昭39.11.3～昭39.11.17）

技術員 愛場 要：文部技官に任官（昭39.8.1）大橋啓吾：講師（非常勤）に併任する（昭40.1.16）

〔病理学〕

講師（非常勤）峰下鉄雄：任用を更新する（昭39.4.1）

副手 進藤備昌・富永敏郎・北村彬・溝口喜久男・竹沢正和・永井隆男・岡田彰・伊藤 満・池谷淳一・熊沢 清・池田嵩・稲本康彦：任用を更新する（昭39.4.1）

竹沢紀美子：副手に採用（昭39.4.1）

講師 水谷 昭：アメリカ合衆国へ出張，期間延長（昭39.9.10～昭40.9.9）

佐々木 元：研修許可（昭39.6.1～昭40.5.31）

小林昭宏：研修許可（昭39.9.1～昭40.8.31）

〔細菌血清学〕

副手 伊藤義昭・大平実・土井和雄：任用を更新する（昭39.4.1）

小林 博：研修許可（昭39.9.20～昭40.9.19）

〔結核研究所〕

教授 長石忠三：所長に就任（昭39.10.20）

〔事務部〕

患者掛主任 中村彦次郎：退職（昭39.3.31）

事務員 佐竹セツ：文部事務官に任官（昭39.7.1）

〔附属病院〕

教授 内藤益一：病院長に就任（昭39.7.16）

〔診療部〕

明石和子：文部技官に採用（昭39.7.1）

松田富子・鈴村かなゑ：文部技官に採用（昭39.3.1）

文部技官 鈴村かなゑ：退職（昭39.3.31）

主任看護婦 西川澄子：退職（昭40.1.15）

文部技官 広橋俊子：退職（昭40.1.15）

文部技官 森田美代子・星野好江：退職（昭39.12.31）

学 位 授 与

池田宣昭：結核化学療法剤の毎日投与法と間歇投与法との効果比較に関する試験管内実験的研究（昭39.3.23，医博第155号）

- 中島 道郎：結核菌感染に対する家兎 Alveolar Macrophage の抵抗性に関する組織培養的研究（昭39.12.25, 医博第156号）
- 大道 重夫：ウレタン腹腔内注入によるマウスの実験的肺腫瘍の形態学的研究（昭39.6.23, 医博第138号）
- 引間 啓祐 Histochemical Studies on Dehydrogenases and Diaphorases with special Reference to their Specificity（昭39.6.23, 医博第162号）
- 大城 盛夫：遅延型皮膚アレルギー感受性の受身伝達に関する研究（昭40.3.23, 医博第174号）
- 吉原 宣方：現行結核菌耐性検査法に就いての吟味（昭40.3.23, 医博第184号）
- 久世 文幸：結核化学療法剤としてのオルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ (SOM) に関する生体実験（昭40.3.23, 医博第185号）
- 田中 健一：オルトアミノフェノール・メタンスルホン酸ソーダ (SOM) の試験管内抗結核菌作用に関する研究（昭40.3.23, 医博第186号）
- 永野 琴子：発癌と制癌に及ぼす結核の影響に関する実験的研究（昭40.3.23, 医博第187号）

結核研究所行事

◇昭和39年度結核研究所学術講演会（昭40.1.9）（前掲）

〔講演〕

- 1) 長石忠三・岡田慶夫：肺癌のリンパ行性転移に関する2, 3の問題
- 2) 安平公夫：肺における扁平上皮癌の実験的発生
- 3) 峰下鏡雄：男性ホルモン依存性のマウス乳癌について
- 4) 大島駿作：健康人尿中の抗結核菌性因子について
- 5) 小林 裕：BCG ワクチンの経口接種について
- 6) 白石正雄：免疫学, ことに結核免疫学における2, 3の問題
- 7) 内藤益一：SM・PAS・INH 無効肺結核の化学療法

〔討議〕

『今日の問題……深刻化しつつある耐性菌問題』

司会 植田三郎 話題提供 香川輝正, 津久間俊次, 中井 準

◇結核研究所総合談話会

第99回（昭39.5.28）

1. 肺気腫合併肺結核の心肺機能 久野健志（外科学）
2. 薬学者の見た東南アジア 木村康一（京大薬学部）

第100回（昭39.11.19）

1. Transfer factor について 泉 孝英（内科学第2）
2. 遺伝的に規制された血清補体成分 岡田長保（病態生理学）

第101回（昭40.2.18）

1. 胸腺の生理と病理 安平公夫（内科学第2）
2. 第8回国際胸部疾患会議に出席して前川暢夫（内科学第1）
2. ラテンの国々 内藤益一（内科学第1）